

ハンツウジャンプ!

広島医療生協 三次支部
 三次市三次町 310-4 (県北事務所内)
 TEL:(0824)65-6056 FAX:(0824)64-8445

地区別総代会の報告

4月6日に県北地区の総代会がありました。

本部から斎藤専務が来られ、憲法9条の改定問題、社会保障費を抑制して病人を病院から在宅へ、介護の必要な人は事業所からボランティアへ誘導しようとする政府の動きが説明されました。



また、広島医療生協の2017年度のまとめと2018年度の方針案などの説明があり、他団体との協同・連携し子どもからお年寄りまで誰もが気楽に立ち寄れる場所を拡げ、組合の意識を高め、情勢や経営について学ぶ機会を定期的に作るとの話でした。

経営やマネジメントの話は、正直言ってわからなかったです。限られた時間での説明は大変かと思いますが、本部と離れているため状況が分かりにくいので、もっと組合員にやさしい説明をしていただけたらと思いました。

「共立病院周辺の地域と援助に差がある。県北への手助けがもっと欲しい」「知人に声をかけるときに、組合員になったらどんなメリットがあるのか?」と言われて、具体的な例が説明できない」などの声がありました。

県北地区では2018年度は機関紙配布網の整備して、組合員さんと支部とのつながりを強くしていこうと考えています。(S)

新しい班が出来ました!

三次町の住吉神社の近くでいつも集まって会議をしている仲間と、医療生協の班になりました。

もともとの組合員3名と新しく加入した人1名の計4人での結成。

月の終わりの会議の前に、血圧測定と体脂肪測定をすることにしました。

思いのほか血圧や体脂肪の数値が思いのほか高く出たり、体年齢が若く出たりして盛り上がり、自分の体のことを改めてする良いきっかけになりました。

まずは続けて、みんなと楽しく健康管理ができればいいなと思います。(S)



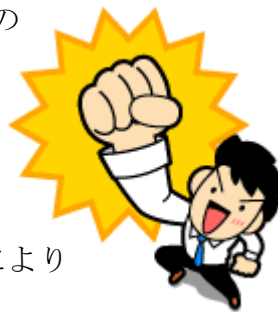
担当者が増えました

このたび、健康まちづくりセンターの県北地域担当になりました、中島 常(なかしま ひさし)と申します。

県北地域は、拠点となります広島市安佐地区より離れた地域ではありますが、組合員の皆さま方の積極的な活動により地域で発展を遂げております。

今後とも「地域まるごと健康づくり」を目指し、地域の中で広島医療生協の存在を大きく広げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願致します。

広島医療生協 健康まちづくりセンター 主任 中島 常



えのかわ訪問記

岡檀さんの「生き心地の良い町」を読みました。

徳島県南部の旧海部町は全国でも極めて自殺率の低い地域。岡さんが4年間現地調査に入り、そこで明らかになったことは、①いろいろな人がいた方がよい、②人物本位主義、③「どうせ自分なんて」と考えない、④病は市に出せ、⑤ゆるやかにつながる、です。

びっくりしたのは、病は市に出せ。うつ病の受診率が高く、しかも軽症で受診する。

困った時に相談したり助けを求めたりすることを恥ずかしいと思わない、と答える人が多いのもうなずけました。

「SOSを出すこと」

簡単そうで難しいことですが、私自身も日々考えていきたいところです。(毛利)



ご相談は、えのかわへ

訪問看護ステーション えのかわ
 居宅介護支援センター えのかわ
 TEL 0824-64-8444

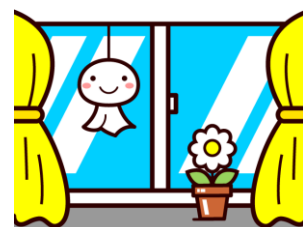


6月の行事予定

- 6月4日 機関紙準備(県北事務所) 9:00~
- 6月9日 総代会(佐東公民館) 13:00~
- 6月25日 地区代表者会議兼三次支部会議 9:30~
- 6月27日 子育て支援会議(たきど) 10:00~
- 第3火曜日 笑って元気(酒屋コミュニティ) 10:00~

開催班会:

- わかば班・あけぼの班
- 寒椿班・ふじ班・京之峡班
- 若返り班・よつば班
- あさぎり班



はなうたコラム

新緑が美しい5月。農繁期で忙しい方もいらっしゃるでしょう。この時期気を付けて頂きたいのは『脱水!』急な気温の変化に体が慣れていない時期でもありますので、意識して水分を補給。ビタミン、タンパク質などをしっかり摂り、適度な休息をとるようにして下さいね。

